令和５年度 事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人ＯＷＳ

１．事業の成果

(1) 自然体験学習事業（海の子プロジェクト）

小学生を対象とした海辺の自然体験学習プログラムを以下の通り3回実施し、44名の児童と教員2名が参加し、身近な海辺の自然と生き物に触れ合い学びを深めた。

a. ネイチャースクールの実施

①5月20日　代々木集合解散バスツアー「磯･砂浜の生きもの観察&クラフト教室」
開催地：城ヶ島
参加者数：14名（小学生3年～6年）

②6月4日　三浦市内の8小学校児童限定・現地集合「磯･砂浜の生きもの観察&クラフト教室」
開催地：城ケ島
参加者数：5校から20名（小学生3年～6年）

b. 出前授業の実施

①7月19日　剣崎小学校6年生 出前授業「磯・干潟の生き物観察とカメラ教室」
開催地：江奈湾・東干潟と磯海岸
参加者：10名＋教員（小学生６年）

(2) 普及啓発事業

a. 会報「季刊エブオブ」を4回発行し、以下の特集記事等を掲載し、6,000部を配布した。

①5月20日発行：「洋上風力発電が海鳥におよぼす影響と課題」
執筆：[redacted]

②8月20日発行：「漁具による海洋汚染問題について」
執筆：[redacted]

③11月20日発行：「海洋生態系における防汚物質の生物影響」
執筆：[redacted]

④2月20日発行：「純淡水棲サワガニの驚きの進化史」
執筆：[redacted]

b. 干潟保全及び絶滅危惧海鳥類の保全に関する以下の活動を実施した。

①三浦市江奈湾干潟において、干潟観察会を5回実施し、58名が参加した。

②「世界アルバトロスデー&シーバードウィーク2023」の実行委員会（委員長：[redacted]）の事務局を担当した。6月イベント（6月15日～21日）では、8名の講演者による対面及びオンラインによる講演会を実施し、約120名が参加した。

c.「海洋ごみプロジェクト2023」として、以下の活動等を含む19のイベントを開催し、海洋ごみの削減に関する啓発活動を推進した。

①海洋ごみ写真資料展用写真パネルを全面リニューアルし、A1サイズ24枚セット、A3サイズ24枚セットの2種類を制作した。

②海洋ごみ写真資料展「海洋ごみについて考えよう」を企業2社に貸出し、写真資料展を大阪市と都内の2ヵ所で開催し、376名が鑑賞した。併せて、海洋ごみ削減啓発チラシ440枚を配布した。

③海洋ごみ問題をテーマとした講演会（対面）を港区芝地区総合センターで実施し、20名が参加した。また、三浦市の剣崎小学校6年生を対象に海洋ごみに関する出前授業を1回実施し、12名が参加した。

④NPO・NGO14団体で構成する「減プラスチック社会を実現するNGOネットワーク」による議員会館での「改正海岸漂着物処理推進法見直しに向けて」と題した院内集会を開催した。集会には21名が参加し、OWSも写真データを提供するとともにスタッフとして参加した。

⑤各イベントにおいて、海洋ごみの発生抑制をアピールするチラシを配布した。また、ダイバー向けマナーグッズ「エコメッシュ」（ダイビング中、水中で見つけたプラごみ等を回収するためのメッシュバック）を13名に20個を頒布した。

(3) 調査研究事業(サンゴ調査プロジェクト・干潟保全プロジェクト)

a. 江奈湾干潟において、6月18日に第11回干潟ベントス調査を実施し、研究者9名、大学教員と学生チーム11名、地元小学校教員5名を含む34名が参加し、30種をこえる新規出現種を確認した。これまでの調査データも併せ、日本ベントス学会誌78巻（2023年12月25日発行）に「三浦半島江奈湾の底生動物―東京湾口に残されたベントス多様性のホットスポット―」として4本の論文を発表した。

d. 和歌山県那智勝浦町のゆかし潟干潟において、7月1日～2日、干潟ベントス調査を実施し、14名が参加した。調査では、14種以上の新規出現種を確認した。また、9月29日にはスノーケリング調査により湾内のサンゴ分布域を新たに確認し、9月30日には和歌山県立自然博物館主催の干潟生物観察会（地元一般参加者25名以上）に合流・参加した。

c. 国立環境研究所との連携により、茨城県ひたちなか市の磯崎海岸において、造礁サンゴの探察調査を実施し、8名が参加した。海況不良により十分な調査ができずサンゴ類の発見には至らなかった。

d. 国立環境研究所との業務請負契約による全国10海域での「造礁サンゴモニタリング調査」を実施し延べ39名が参加した。

e. 国立環境研究所との業務請負契約による全国10海域での「魚類調査」を実施し、延べ36名が参加した。

(4) 環境保全協力事業(干潟保全プロジェクト・海洋ごみプロジェクト)

a. 神奈川県三浦市の江奈湾干潟において、干潟観察会＆ごみ回収活動を以下の5回実施し、延べ112名が参加し、合計920kgの漂着ごみ・投棄ごみを回収した。今年度の活動により、過去12年間の累計で10tの回収量に達した。

①4月22日　西干潟　178kg　参加者：13名
②7月22日　西干潟　238kg　参加者：18名
③9月03日　東干潟　326kg　参加者：54名
④1月30日　東干潟　46kg　参加者：14名（小学生）
⑤3月30日　西干潟　132kg　参加者：13名

b. ゆかし潟の保全を目的とした一般配布用のリーフレット「希少な生き物を育むゆかし潟」を2,000部発行した。このリーフレットにはゆかし潟の希少な生態系の解説とともに希少ベントス類61種をカラー写真で掲載しており、2024年度の活動を通して現地の学校、教育施設などに配布し、保全の普及啓発に活用する。

２．事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業　　（事業費の総費用【8,354】千円）

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（千円）
自然体験学習事業	子ども対象自然体験学習プログラム ネイチャースクール、出前授業の開催	5月～7月	神奈川	6名	市民・児童 44名	393
普及啓発事業	会報「季刊 エブオブ」発行および配布	年4回	全国	7名	市民/6千人	
	江奈湾干潟観察会の実施	4月～3月	関東	10名	市民/58名	
	世界アルバトロスデー&シーバードウィーク 実行委員会事務局運営・講演会の実施、絶滅危惧海鳥類のWebとリーフレットによる普及啓発	4月～3月	全国	3名	講演/120名 啓発/2千人	2,397
	海洋ごみ写真資料展の開催	7月～8月	全国	2名	市民/400名	
	海洋ごみをテーマとした講演、出前授業	1月	東京	2名	市民/32名	
	減プラスチック社会を実現するNGOネットによる院内集会の開催	11月	全国	2名	議員・メディア/100名	
	海洋ごみ抑制のためのチラシ配布活動、ダイバー向けマナーグッズ・エコメッシュの頒布	4月～3月	全国	2名	市民/450名	
調査研究事業	江奈湾干潟ベントス調査の実施と論文発表	6月	関東	11名	市民・研究者 自治体/500名	
	ゆかし潟干潟ベントス調査	7月・9月	関西	4名	市民・研究者 自治体/300名	4,568
	ひたちなか造礁サンゴ探索調査の実施	6月・9月	関東	6名	市民・研究者/30名	
	造礁サンゴモニタリング調査の実施	10月～2月	全国	4名	市民・研究者/100名	
	魚類調査の実施	10月～2月	全国	4名	市民・研究者/100名	
環境保全協力事業	江奈湾海岸ごみ回収活動の実施	4月～3月	関東	11名	市民・自治体・学校/500名	
	ゆかし潟の保全を目的としたリーフレットの制作と配布	2月～3月	関西	4名	市民・自治体 学校/300名	996

(2) その他の事業　なし

令和5年度 活動計算書

令和5年 4月1日 から 令和6年 3月31日 まで

特定非営利活動法人OWS

科目	金額（単位:円）		
Ⅰ 収入の部			
1 会費収入			
正会員会費	452,000		
個人賛助会員会費	662,000		
法人賛助会員会費	100,000	1,214,000	
2 事業収入			
環境教育事業	410,892		
普及啓発事業	2,893,024		
調査研究事業	4,499,880		
環境保全協力事業	718,500	8,522,296	
3 寄付金収入			
寄付金	2,419,991	2,419,991	
4 事業外収入			
受取利息	67		
雑収入	1,501	1,568	
当期収入合計(A)			12,157,855
前期繰越収支差額			9,220,216
収入合計(B)			21,378,071
1 事業費			
環境教育事業	393,088		
普及啓発事業	2,397,493		
調査研究事業	4,567,624		
環境保全協力事業	996,401	8,354,606	
2 管理費			
給料手当	1,872,000		
法定福利費	376,866		
発送配達費	110,092		
通信費	74,952		
水道光熱費	48,900		
消耗品費	120,164		
地代家賃	1,040,497		
保険料	46,560		
租税公課	1,000		
諸会費	825		
新聞図書費	8,280		
支払手数料	69,999		
旅費交通費	25,527		
通勤費	83,400		
会議費	55,107		
雑費	1,710		
支払報酬料	11,000	3,946,879	
当期支出合計(C)			12,301,485
当期収支差額(A)－(C)			-143,630
次期繰越収支差額(B)－(C)			9,076,586

令和5年度　貸借対照表

令和6年　3月31日　現在

特定非営利活動法人OWS

科目	金額（単位:円）		
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
現金及び預金	9,591,773		
未収入金	144,024		
流動資産合計		9,735,797	
資産合計			9,735,797
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	35,500		
前受金	12,000		
預り金	111,711		
仮受金	500,000		
流動負債合計		659,211	
負債合計			659,211
Ⅲ 正味財産の部			
基本金		9,220,216	
当期正味財産増加額		-143,630	
正味財産合計			9,076,586
負債及び正味財産合計			9,735,797

令和5年度 財産目録

令和6年3月31日現在

特定非営利活動法人OWS

科目・摘要		金額(単位:円)		
Ⅰ 資産の部				
1 流動資産				
現金預金				
現金		7,454		
普通預金 三菱UFJ銀行 新宿新都心支店		8,562,905		
普通預金 GMOあおぞら銀行 法人営業部		951,980		
郵便貯金 代々木駅前通り郵便局		69,434		
未収入金		144,024		
	流動資産合計		9,735,797	
	資産合計			9,735,797
Ⅱ 負債の部				
1 流動負債				
未払金		35,500		
前受金		12,000		
仮受金				
令和6年度活動費(あすのはね)		500,000		
預り金				
源泉所得税		38,841		
社会保険料		72,870		
	流動負債合計		659,211	
	負債合計			659,211
Ⅲ 正味財産				9,076,586

令和5年度　年間役員名簿

令和5年　4月　1日　から　令和6年　3月31日　まで

特定非営利活動法人OWS

	役名	氏名	[redacted]	就任期間	報酬を受けた期間
1	理事	横山耕作		令和5年4月1日 ～令和6年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年　月　日
2	理事	高砂淳二		令和5年4月1日 ～令和6年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年　月　日
3	理事	宮川貴子		令和5年4月1日 ～令和6年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年　月　日
4	理事	森紀子		令和5年4月1日 ～令和6年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年　月　日
5	理事	杉森雄幸		令和5年4月1日 ～令和6年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年　月　日
6	理事	池上喜代壱		令和5年4月1日 ～令和6年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年　月　日
7	監事	福田秀人		令和5年4月1日 ～令和6年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年　月　日

令和5年度　社員のうち10人以上の者の名簿

令和6年　3月31日　現在

特定非営利活動法人OWS

	氏名	[redacted]
1	横山耕作	
2	高砂淳二	
3	宮川貴子	
4	森紀子	
5	杉森雄幸	
6	池上喜代壱	
7	古谷和俊	
8	矢田誠	
9	福田秀人	
10	仲　祐介	